

会 議 録

会議の名称	平成28年度第1回清須市健康づくり推進協議会
開催日時	平成28年7月20日（水） 午後2時00分～午後3時40分
開催場所	清洲庁舎 202会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 委嘱状の交付、委員の紹介 3. 清須市健康づくり推進協議会設置について 4. 会長、副会長の選出 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 健康日本21清須計画（第2次）推進について (2) 保健事業について (3) その他
会議資料	<p>会議次第</p> <p>資料1 清須市健康づくり推進協議会委員名簿</p> <p>資料2 清須市健康づくり推進協議会設置要綱</p> <p>資料3 保健事業</p> <p><参考資料></p> <p>概要版 健康日本21清須計画（第2次）</p> <p>平成28年度清須市母子保健事業日程表</p> <p>平成28年度清須市成人保健事業日程表</p> <p>清須市国保特定健診</p> <p>介護予防事業年間日程表</p> <p>こころの健康・認知症のチェックサイトを活用してみませんか</p> <p>きよす健康マイレージ</p> <p>地域の見守り隊「母子保健推進員」として活躍しませんか？</p> <p>○当日配布資料</p> <p>平成28年度第1回清須市健康づくり推進協議会配席図</p> <p>計画の推進(ネットワークの強化)イメージ</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	加藤委員、鬼頭委員、宮田委員、小川委員、田中委員、柴山委員、佐橋委員、浅井委員、伊藤委員、波多野委員、中村委員、山内委員、伊澤委員、鈴木委員
欠席委員	富田委員
事務局	<p>加藤市長</p> <p>林部長</p> <p>〔健康推進課〕 田中、武居、古川、幸村、坂下、舟橋、上田</p> <p>〔高齢福祉課〕 高木</p>
会議の経過 《要旨》	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市長あいさつ <p>本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、心から御礼を申し上げます。</p> <p>また、日ごろから保健衛生行政につきまして、深い御理解と多大な御協力を賜っておりますことを、この場をおかりしまして厚く御礼を申し上げます。</p>

本年度清須市においては市政10周年を迎え、総合計画では次の10年に向けて2次計画を策定中です。また、現在新庁舎増築工事をしており、1月10日からは本庁での集約方式となります。今後も危機管理体制を強化していきます。

市民にとっては健康が何よりも大切です。ライフスタイルの変化によるストレス・うつ病などのメンタルヘルスの課題、高齢化による認知症など様々な課題があります。こうした中、平成27年度に策定された第2次健康計画が2年目を迎えます。計画推進のため委員の皆様には是非、忌憚のないご意見を頂きますようお願い申し上げます。

2. 委嘱状の交付、委員の紹介（資料1）

委任状は各自の卓上に配付。委員名簿により紹介。

3. 清須市健康づくり推進協議会設置について（資料2）

事務局より説明。

4. 会長、副会長の選出

事務局一任の発言あり。委員全員の承認により、会長に鬼頭委員、副会長に加藤委員を選出。

鬼頭会長あいさつ

加藤副会長あいさつ

会長より会議録署名委員として、小川委員及び波多野委員を指名。

5. 協議事項

（1）健康日本21清須計画（第2次）推進について

鬼頭会長：協議事項（1）「健康日本21清須計画（第2次）推進について」、事務局より説明をお願いします。

事務局：概要版を説明。

小川委員：毎月広報清須で健康日本21の周知をいただいています。がん検診で受診者に対してアンケート調査を行っていただいていると思いますが、健康日本21清須計画の認知度は向上していますか。また認知していても内容を知っているかが大切だと思いますがどれぐらいの効果が出ていますか。

概要版は何冊印刷していますか。ホームページにアップ公開していると思いますが市民はどれぐらいアクセスしていますか。また、がん検診受診率の向上はしていますか。安心して住める清須市を目指してほしいです。

加藤副会長：がん対策は大切です。平成25年度の受診率は20%を切っています。特定健診は集団健診の他、医療機関での個別健診が受けられます。市民の方から「胸部レントゲンを医療機関でできないか」と言われることがあります。今のところ集団検診しかありません。今後個別検診の可能性はありますか。

事務局：特定健診は約50%の方が受診していますが、がん検診は目標を満たしていません。

胸部レントゲンの個別検診は二重読影の体制を整備するための期間も必要です。疾病・死亡の動向も踏まえ検討をしていきたいと考えています。

鬼頭会長：宮田委員、薬剤師の立場からいかがですか。

宮田委員：自覚症状のないCOPD治療中の方にCOPDのお話をしても受け入れは難しいです。自覚の持てるPRができるといいと思います。

佐橋委員：自分に自信のある人は検診を受けない。検診料金が大変安いのでどんどん受診していただくとよいと考えます。

事務局：高齢者の皆様は検診に関心が高いと思います。ライフスタイルに沿った生涯を通じた健康づくりが大切と考えています。

加藤副会長：重点課題の「睡眠とたばこ」ですが、たばこについてはCOPDの講座等を実施していますが、睡眠について何か実施していますか。

小中学生の不眠が多い状況です。スマートフォンのLEDブルーライトを見ているだけで不眠になることを委員の皆さまはご存知ですか。

佐橋委員：睡眠時間と年齢は関係ありますか。

加藤副会長：関係あります。睡眠の大切さ、情報提供を市民に伝えていくことが大切です。小中学生では、睡眠時間の個人差が1時間以上あると言われています。睡眠の質が重要で睡眠の意味を市民の方に伝えていくことが必要です。

鬼頭会長：学校PTAの立場から田中委員ご意見お願いします。

田中委員：高校生・中学生・小学生の子どもがいますが、高校生・中学生の子はスマートフォンを持っていますが、使い方のルールを決めています。連絡ツールとして携帯電話・スマートフォンの活用が増えていると思います。しっかり睡眠がとれているとは言えません。

鬼頭会長：子ども会で活躍している伊澤委員いかがですか。

伊澤委員：春日中学校では、スマートフォンの使用を午後10時までと啓発しています。10時以降は保護者が管理しています。

(2) 保健事業について

鬼頭会長：協議事項(2)「保健事業について」、事務局より説明をお願いします。

事務局：保健事業について説明。

鬼頭会長：企業の立場から中村委員いかがですか。

中村委員：企業では残業時間管理をしています。月100時間を超える社員はいませんが、80時間以上の方は産業医と面接をしています。従業員50名以上の企業はメンタルヘルスチェックが義務付けられており、メンタルヘルスに力を入れています。

鬼頭会長：女性の会として多方面で活躍してみえる柴山委員いかがですか。

柴山委員：同年代の方は眠れないという理由で睡眠薬を内服してみえる方もいます。孫もスマートフォンに夢中で会話が少なくなっています。

加藤副会長：睡眠の導入として、寝酒や睡眠薬の使用等が言われていますが、寝酒は睡眠を浅くし睡眠障害をおこします。高齢者の睡眠薬の常用は認知症との関連など注意が必要です。睡眠薬を減らすために眠たくなってから床に就くことは効果があります。

鬼頭会長：長年、食生活改善推進員としてご活躍して見える浅井委員、食の面からご意見はありませんか。

浅井委員：現在、食生活改善推進員は各家庭の味噌汁の塩分濃度を測定させていただいています。女性の会の方にもご協力いただき、味噌汁の塩分濃度の測定とアンケート調査を実施しています。アンケート調査からは副食の味付けは「どちらでもない」の回答が多い状況です。

鬼頭会長：波多野委員、子育てや子どもたちの健康を考えるうえでお気づきになったことがありましたら、ご発言をお願いします。

波多野委員：赤ちゃんの全戸訪問を実施しています。そんな中、喫煙している方、スマートフォンを使いながら赤ちゃんをあやしているお母さんの姿をみます。勉強してお母様に還元していきます。

鬼頭会長：働き盛りでお忙しい日々だと思いますが、健康づくりについて山内委員ご発言いただけませんか。

山内委員：レントゲン撮影をすると被爆するから検診は受けない、たばこをやめるとストレスがたまるからやめないという判断で健康づくりができていない状況があります。納得する説明をお聞きすることができたら行動に移せるのではないかと思います。教えてくださいませんか。

鬼頭会長：たばこを吸われる方自身の害については仕方ないと思いますが、受動喫煙している周りの方たちにも影響があります。

加藤副会長：レントゲンについては生まれてから毎日1枚ずつ撮っても害がないと言われてい

ます。レントゲンによる発がんの心配はありません。たばこについてはイライラ解消のために吸っていると言われますが、たばこを吸うことがイライラの原因になっています。

鬼頭会長：歯科医院で口腔内を見るとたばこを吸うことで歯石、歯肉の状況などの変化も見られます。

鬼頭会長：清須保健所長の鈴木委員、総括してご発言をお願いします。

鈴木委員：目覚めが悪いと朝食がとりにくいことや、睡眠不足がうつ病になりやすいことは分かっています。身体の関係はつながっています。市民のご意見を大切に、毎年の事業を評価して健康づくりを推進していくことが重要です。

伊藤委員：健康づくりの体操後、参加者の方から疲れたということばが聞かれると、今日はよく眠れるよと声をかけています。体操のできる施設、皆さんが集まれる場所、大人も子どもも楽しんでできるコグニサイズ（コグニション（認知）課題とエクササイズ（運動）課題を同時に行うことで脳と体の機能を向上させるプログラム）のできる場を公園に作ってほしいです。

鬼頭会長：皆様、長時間にわたる協議を、ありがとうございました。

（２）その他

事務局：今回は、来年の１月～２月を予定しています。今後ともよろしくお願いいたします。

会議の経過を記載して、その内容に相違ないことを証するためにここに署名します。

署名委員

小川 禎一 ㊟

波多野 眞純 ㊟

会議の結果	会議の経過に示したとおり
問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 052-400-2911 内線4360